

第2回災害ケースマネジメント研修 in 和歌山 実施要項

1. 研修テーマ：居住支援から事前復興を考える。

被災者支援の中心は「住まい支援」であることから、居住支援という視点で事前復興を考える。危機管理と福祉と住宅部局の連携促進をはかるとともに、顔の見える関係を平時の居住支援活動のなかで培つておくことが災害時に有効であることを学ぶ。ただし被災後は、被災者の住まい再建の進捗と再建意向を的確に把握したうえで、復興公営住宅等の整備等につなげることが重要になるため、被災前と被災後に実施しなければならないことを考える。

今回の研修は、愛媛県宇和島市高齢者福祉課長の岩村正裕氏をお招きし宇和島市の災害ケースマネジメントの取り組みを学ぶとともに、NPO 法人大牟田ライフサポートセンター事務局長 牧嶋誠吾氏と、NPO 法人おかやま入居支援センター理事長 井上雅雄氏、NPO 法人 YNF 代表理事 江崎太郎氏から話題提供いただき、居住支援の視点から事前復興についてともに考える機会とする。

2. 内容・講師等

第1部 基調講演：「(仮題)宇和島市における災害ケースマネジメントの取組み(災害支援と居住支援と重層的支援における復興の取組み)」

講師：愛媛県宇和島市高齢者福祉課長 岩村正裕氏

第2部 OJT 研修の実施報告

第3部 パネルディスカッション

パネラー 話題①「(仮題)居住支援協議会の事前復興」

NPO 法人大牟田ライフサポートセンター事務局長 牧嶋誠吾氏

話題②「(仮題)西日本豪雨災害における倉敷市真備町での被災者転居支援」

NPO 法人おかやま入居支援センター理事長 井上雅雄氏

話題③「(仮題)能登半島地震における珠洲市での生活再建支援について」

NPO 法人 YNF 代表理事 江崎太郎氏

コーディネーター NPO 法人ワンファミリー仙台 理事長 立岡学氏

コメントーター 岩村正裕氏

3. 主催

主催：和歌山県、NPO法人ワンファミリー仙台、NPO法人YNF

協力：一人ひとりが大事にされる災害復興法をつくる会、NPO法人ジャパンプラットフォーム

4. 本研修の対象者

和歌山県内の自治体職員(福祉部局、住宅部局、危機管理部局)、居住支援協議会関係者、居住支援法人関係者、福祉関係者、NPO 団体関係者、災害ケースマネジメントに関心のある方など

5. 開催日時・参加費

令和 8 年 2 月 13 日 (金) 13 時 30 分～16 時 20 分 参加費無料 (13 時 00 分開場)

6. 開催会場・定員

和歌山県 JA ビル 和ホール(和歌山市美園町 5 丁目 1 番地の 1) 定員：100名程度

7. 申し込み締切日

令和 8 年 2 月 6 日 (金) 詳細は「10. 申し込み用紙」をご覧ください。(定員に達した時、お断りする場合がございます。)

8. 個人情報取り扱い

参加に関する個人情報は適切に取り扱い、ご本人の同意なく第三者へ提供または開示いたしません。
当法人に関するセミナーや催し等に関する情報提供等に活用させていただく場合がございます。

9. 研修プログラム

時間(予定)	プログラム
13:30	事務連絡(事務局) 開会あいさつ(主催:NPO法人ワンファミリー仙台)
13:45 14:45 (60分)	第1部 基調講演 「(仮題)宇和島市における災害ケースマネジメントの取組み(災害支援と居住支援と重層的支援における復興の取組み)」 講師:愛媛県宇和島市高齢者福祉課長 岩村正裕氏 講師プロフィール:1971年生まれ。平成5年宇和島市役所入庁。農業委員会、生涯学習課、市立宇和島病院勤務を経て、平成27年度から地域包括支援センターにて地域包括ケアシステムの構築を開始。これまで介護予防事業から医療介護連携事業、生涯活躍のまち事業、地域共生社会の実現事業の担当を経て、令和3年度から重層的支援体制整備事業を実施中。人口減少が急激に進む宇和島市において「健康長寿のまちづくり」に取り組み、2020年には日経BP社主催の「まちのチカラを引き出したPPPアワード」健康・福祉賞を受賞。令和3年度からは高齢者福祉課との兼務で少子高齢化が進む宇和島市でのまちづくりを実践している。
14:45 15:00	第2部 OJT研修の実施報告 NPO法人YNF代表理事 江崎太郎氏
15:00 16:15 (75分)	第2部 パネルディスカッション パネラー: 話題① 「(仮題)居住支援協議会の事前復興」 NPO法人大牟田ライフサポートセンター事務局長 牧嶋誠吾氏 プロフィール:一級建築士。元大牟田市建築住宅課長。入庁後、市営住宅建替え事業などの箱モノ整備に携わる。その後、自ら志願して保健福祉部局に異動し、地域包括ケアシステムの構築に携わる。その経験から住宅政策における福祉との連携の必要性を認識し、大牟田市居住支援協議会を設立。現在は、居住支援の最前線で支援者として活動するほか、国交省居住支援協議会伴走支援プロジェクト委員として全国各地の居住支援の推進に取り組んでいる。◇著書に「福祉と住宅をつなぐ」(学芸出版社)※第12回不動産協会賞受賞。

話題② 「(仮題)西日本豪雨災害における倉敷市真備町での被災者転居支援」

NPO 法人おかやま入居支援センター理事長 井上雅雄氏

プロフィール：岡山市出身。昭和60年 東京大学卒。松下電器産業株式会社勤務。平成9年岡山弁護士会登録。専門家ネットワークの一員として高齢者・障がい者の地域生活の支援に取り組み、また虐待等を受けた子ども達の支援を行うシェルターの運営等にも関わっている。弁護士法人岡山パブリック法律事務所倉敷支所長、おかやま入居支援センター理事長、子どもシェルターモモ理事長。

話題③ 「(仮題)能登半島地震における珠洲市での生活再建支援について」

NPO 法人 YNF 代表理事 江崎太郎氏

プロフィール：1979 年生 福岡市出身 早稲田大学法学部卒業。東日本大震災より災害ボランティアに関わる。2017 年に YNF を設立し、一人ひとりに合わせたオーダーメイド型支援である「災害ケースマネジメント」を平成 29 年九州北部豪雨・西日本豪雨・令和 2 年 7 月豪雨等で実践、啓発活動も行った。また令和 6 年能登半島地震においては 1 月 2 日に現地入りし、被災している珠洲市職員をサポートする「ミツバチ隊」を組織し、隊長に就任。また 2 月 1 日より、石川県が被災者ひとりひとりを把握するため、被災高齢者等把握事業を実施。現在珠洲市の被災者見守り・相談支援事業を受託し、災害ケースマネジメントの手法を用いた支援を実践している。

コーディネーター：NPO 法人ワンファミリー仙台 理事長 立岡学氏

プロフィール：2002 年、ホームレス支援をおこなう任意団体「ワンファミリー仙台」を設立。2006 年 7 月、NPO 法人化し理事長に就任。2008 年より 2018 年まで反貧困みやぎネットワーク副代表を務めた。2011 年、一般社団法人パーソナルサポートセンター(PSC)を設立し、当初は東日本大震災の被災者支援に携わる。その後、PSC では生活困窮者自立支援制度に創設期から関わってきた。現在、PSC の業務執行常務理事を務める。2017 年には合同会社 PSC プラスを設立し、住まいに困っている人のための不動産事業を展開。

コメントーター：岩村正裕氏

16:15 閉会あいさつ(一人ひとりが大事にされる災害復興法をつくる会)



一人ひとりが大事にされる災害復興法をつくる会

10. 申し込み用紙・お問い合わせ先

申し込み方法は下記の4通りあります。いずれかの方法でお申込みください。

- 下記の Google フォームに必要事項を入力して送信する。

<https://forms.gle/CuvBtkLZQEpKKVA3A>



スマートフォンの方はこちら →

- 下記の必要事項をメール本文に書き、メール件名を「2/13 災害ケースマネジメント研修 in 和歌山参加申し込み」として事務局 **kenshu@onefamily-sendai.jp** へ送る。

- 申込用紙に必要事項を記入したのち、PDF にしてメールに添付し、「2/13 災害ケースマネジメント研修 in 和歌山参加申し込み」として 事務局 **kenshu@onefamily-sendai.jp** へ送る。

- 申込用紙に必要事項を記入したのち、FAX で事務局 **022-398-9856** へ送る。

研修 事務局(担当:梶谷・茅野) NPO法人ワンファミリー仙台 総務課内
問合せ電話:022-398-9854(音声案内に沿って 3 番)

2/13 災害ケースマネジメント研修 in 和歌山 参加申し込み 参加申し込み (1 人 1 枚ご記入ください)	
参加者氏名	
メールアドレス	
当日連絡が取れる 電話番号	
所属組織(行政・社協 NPO 等)名	
従事状況 ※いずれかにチェック	これまでに、防災対策の業務や活動(ボランティア等含む)に <input type="checkbox"/> 関わったことがある <input type="checkbox"/> 関わったことはない <input type="checkbox"/> その他()
ご質問等 事前にご質問等がありました らお書きください。	